


下肢血行再建術を受けられる患者様へ

月日 経過	患者氏名 (@PATIENTNAME) (/)	入院日～手術前々日	担当医師 () (/)	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	受持ち看護師 () (/)	術後1日目
達成目標		手術に対する不安や苦痛が最小限で落ち着いている		痛みがなく過ごすことができる 手術の準備が整っている	痛みがなく過ごすことができる	全身状態が安定している 痛みがなく過ごすことができる 足先に冷感や痺れがない 皮膚にトラブルがない		全身状態が安定している 痛みがなく過ごすことができる 足先に冷感や痺れがない 皮膚トラブルがない スムーズに歩くことができる 食事を摂取することができる
治療 処置 薬剤		ご持参の薬を確認させていただきますので看護師へお渡しください 夜眠れない時はお申し出ください 安定剤をお渡しします		両鼠径部の除毛臍処置を行います (女性)マニキュアの除去、爪切り (男性)髭剃り、爪切り 手術に弾性ストッキングを履いていくため足のサイズを測ります 手術必要物品の確認をします 21時に下剤を飲みます 	手術は、時 分頃からです 主治医の指示により血糖測定をすることがあります	酸素吸入や心電図モニターをします 手術室で抗生剤の点滴をします 病室に戻った後も酸素吸入と心電図モニターをつけます 包帯が汚れた時には看護師へお知らせください 痛みがある時や気分が悪い時は我慢せず看護師へ伝えてください		朝8:30頃より医師の診察があります 以下の検査があります。 ・胸とお腹のレントゲン ・採血 主治医の指示により血糖測定をすることがあります(0時・6時・12時・18時) 抗生剤の点滴を朝します→
安静度		特に制限はありません		トイレを済ませ、術衣・T字帯に着替え弾性ストッキングを履きます 歩いて手術室へ行きます 	トイレを済ませ、術衣・T字帯に着替え弾性ストッキングを履きます 歩いて手術室へ行きます	帰室後、10度程度頭を起こすことができます。4時間以降、状態が安定していれば90度まで頭を起こすことができます 術後当日はICU(集中治療室)に入ります		初めて歩く際は看護師と一緒に歩きます 状態が安定していれば術後1日より一般病棟へ戻ります リハビリが開始になります
栄養		病院食となります 		22時以降絶食になります	朝食は食べることはできません 飲み物に関しては手術の順番により変更がありますので決まりましたら看護師より説明させていただきます	水や食事をとることはできません		朝より飲水、 昼から食事が出来ます
清潔				手術する部分をきれいにしたあとに入浴してください	手術着に着替えます お化粧は落としてください 指輪・マニキュア・腕時計はとってください			あたたかいタオルで体を拭きます
排泄		便秘時には下剤を使用し、便の調節をします			手術室に行く前にトイレを済ませておいてください	手術中に尿の管をいれます		尿の管を抜きます 付き添ってトイレまで行きます
教育指導説明		看護師より入院生活の説明します		麻酔科医の診察があります		ご本人に手術の結果の説明をします 		

下肢血行再建術を受けられる患者様へ

月日 経過	患者氏名 (@PATIENTNAME) (/)	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5~7日目	術後8日目~退院まで	
達成目標		全身状態が安定している 痛みがなく過ごすことができる 足先に冷感や痺れがない	全身状態が安定している 痛みがなく過ごすことができる 足先に冷感や痺れがない	全身状態が安定している 痛みがなく過ごすことができる 足先に冷感や痺れがない	全身状態が安定している 痛みがなく過ごすことができる 足先に冷感や痺れがない 創部が感染していない	全身状態が安定している 痛みがなく過ごすことができる 足先に冷感や痺れがない 創部が感染していない	
治療				採血があります	脈波伝播速度の検査があります	血管のエコーがあります	
処置		主治医の指示により血糖測定をすることがあります(0時・6時・12時・18時)					
薬剤		抗生剤の点滴を朝します					
安静度		病棟内を歩けます					
栄養							
清潔		あたたかいタオルで体を拭きます			主治医に確認後 シャワーが可能です 		抜糸の翌日より入浴できます
排泄		便がでなければ坐薬・浣腸をおこないます					
教育 指導 説明							